

情報提供

# 島根原子力発電所 新規制基準適合性審査の状況ほか

---

2023年2月16日

中国電力株式会社

# 1. 新規制基準適合性審査状況

---

## (1) 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査状況(1/2)

### <工事計画認可申請>

- 2022年12月23日に、7回目の工事計画認可申請に係る補正書を原子力規制委員会へ提出しました。これにより、計7回に分けて提出することとしていた補正書を全て提出し終わりました。
- 今回の補正書提出により、原子炉設置変更許可を踏まえた認可申請時からの変更内容を全て申請書に反映させたこととなります。
- 現在、工事計画認可の審査会合は6回実施されていますが、審査は主にヒアリングを中心に進められています。(2023.1末現在 計378回実施)
- 引き続き、審査に適切に対応していきます。

### <特定重大事故等対処施設(以下、「特重施設」という)>

- 2022年2月28日に、特重施設等の設置に係る原子炉設置変更許可申請の補正書を原子力規制委員会へ提出しました。
- これまで審査会合は10回実施されておりますが、保安上の観点から概要説明以外の会合は非公開で開催されています。
- 2023年1月26、27日に現地調査が行われ、これまで審査において資料上で説明してきた内容を実際に現場で確認いただきました。

## (1) 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査状況(2/2)

### <保安規定変更認可申請>

- 2023年1月31日に、保安規定変更認可申請に係る補正書を提出しました。
- 今回の補正では、2021年9月15日に原子力規制委員会から受領した原子炉設置変更許可や現在審査中の工事計画認可申請の内容を踏まえ、重大事故等発生時の体制や手順書の整備などの運用事項等を新たに反映しました。

### <主な補正内容>

- (1) 重大事故・自然災害・火災・内部溢水・有毒ガス発生時等における「要員の配置」「教育・訓練の実施」「資機材の配備」といった体制や手順書の整備に係る事項について、原子炉設置変更許可や工事計画認可申請の内容を反映
- (2) 新規制基準の施行に伴い新たに設置することとなった重大事故等対処設備（大量送水車、高圧発電機車、格納容器フィルタベント系等）の「運転上の制限※<sup>1</sup>」等を規定
- (3) 異なる組織で実施している原子力安全文化の育成と維持に係る業務を電源事業本部に一元化するとともに、それらの取り組み状況を監視・評価する機能※<sup>2</sup>を規定

※1 安全機能を確保するため、動作可能な機器(ポンプ等)の必要台数や原子炉の状態 ごとに遵守すべき温度や圧力の制限等を定めているもの

※2 現在、監視・評価機能の要員は本所在勤としているが、より現場に即した形で業務を実施するため、発電所在勤とする

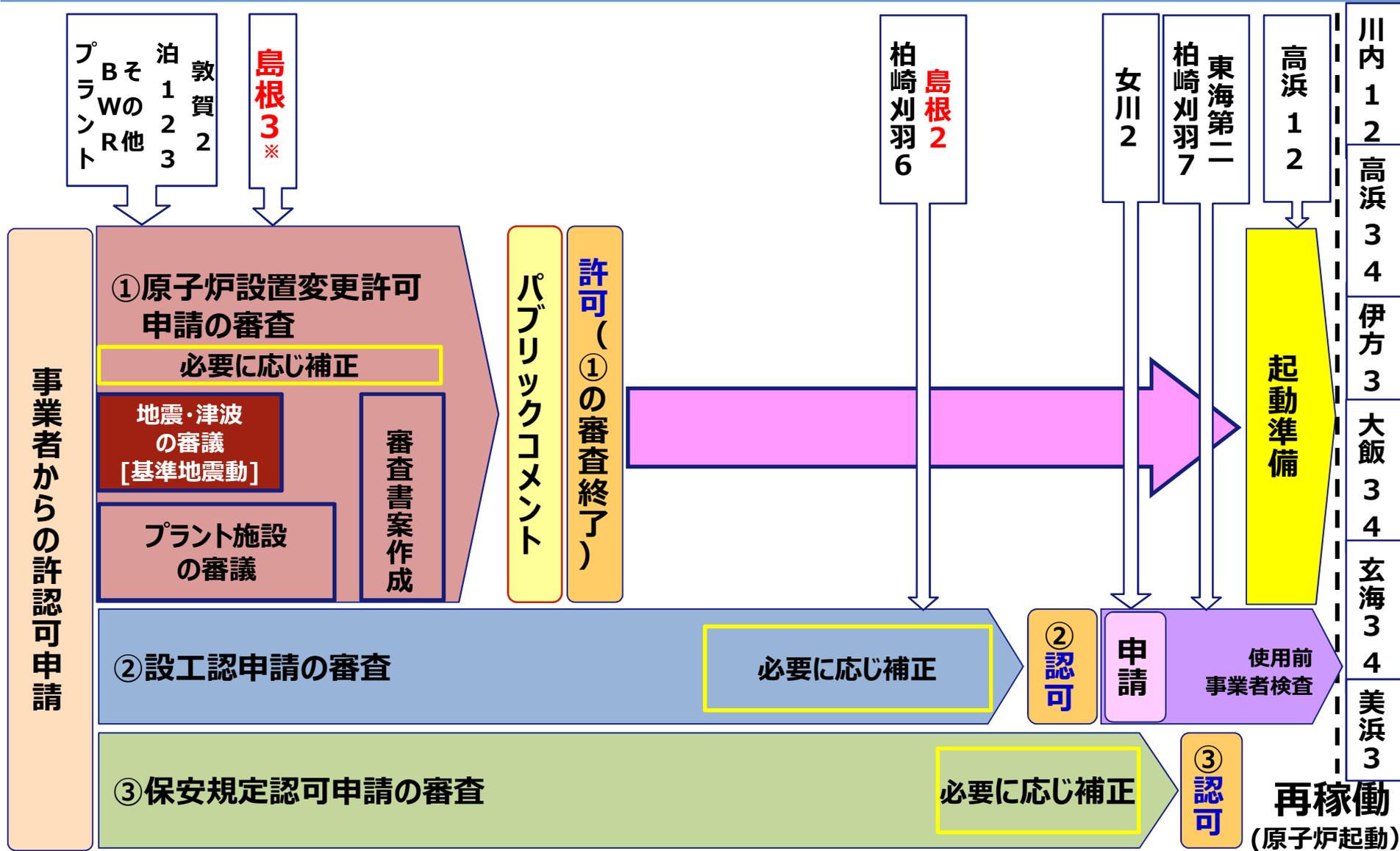
## (2) 島根原子力発電所3号機の新規制基準適合性審査状況

- 2022年6月29日に、補正書(2回目)を提出し、津波や火山などの自然災害の評価について、2号機の原子炉設置変更許可内容の反映等を行うとともに、2号機、3号機ともに燃料装荷することを前提とした原子力防災体制等の見直しを行いました。
- 補正後、適宜ヒアリングが実施され、9月に補正後初となる審査会合が開催されました。
- 現在は、解析コードの審査を中心に進められており、これまで審査会合は3回実施されています。

# (3) 新規制基準適合性審査に係る審査状況

2022年12月末時点

(注) 再稼働までの流れは先行電力の実績を参考に記載



※: 島根3号機の設計および工事計画認可, 保安規定認可については別途申請

## (4) 原子力規制委員会と当社経営層との意見交換

- 2022年10月24日、島根原子力発電所の現況について、原子力規制委員会と当社による意見交換を実施。
- 先方：山中委員長、田中委員、杉山委員、伴委員、石渡委員
- 当社：瀧本代表取締役社長執行役員、北野取締役常務執行役員  
 （同席：電源事業本部 三村原子力管理部長、山本原子力安全技術部長）

### 【当社からの説明内容】

- ・経営トップとしての思い ・島根2、3号機の審査状況 等

### 【原子力規制委員会からの主なご意見】

（山中委員長）

・3号についてはコードの妥当性評価をまず始めたところ。このコードについては日本で初めての評価になると思うし今後日本のBWRで10×10燃料の審査にも使われるコードになるうかと思う。こういう新しいことにトライされるというのは非常に高く評価したい。

（杉山委員）

・現在審査が3件同時に進行しており、保安規定の審査が始まると4件目が発生する。我々の側も申請があればそれに応じてチームを確保するので、双方リソースをかなり必要とする。やはり効率よく進めるという意味でリソース配分をよく検討してほしい。

### 1. 経営トップとしての思い 《「百万一心」の精神》

- 島根原子力発電所は、1号機の廃止措置、2号機の運営、3号機の建設と、全く状況の異なったプラントを有する特徴ある発電所

原子力安全の一義的な責任を担う者として、法令・規制要求等のルールを遵守することはもとより、「現場」、「現物」、「現実」を重視

### 「百万一心※」の精神

※戦国大名毛利元就の言葉で「目で力を合わせれば何事も成し得る」ことを意味

チームの先頭に立ち、たゆむことなく前進する

- 一人ひとりの「自律性」はもちろん、「チーム」として立ち向かう
- 多様な人材の活躍に向けた取り組みを着実に進める
- 「すべての人が持ち場で輝く」の実現

説明資料（抜粋）

## 2. その他情報提供

---

# (1) 避難行動要支援者の避難支援のための福祉車両について

- 2021年6月、島根・鳥取両県を代表して島根県知事から、余裕度向上のための追加的な確保として、ストレッチャーが乗車可能な福祉車両50台程度の確保要請を受け、関係自治体と配備先を調整の上、52台を確保することとし、順次配備を進めています。
- 一部の車両は、社員への操作教育等のため当社事業所に配備しますが、大部分の車両は、関係自治体にお貸しし、地域の社会福祉施設等で活用いただきます。

## <当社が確保する福祉車両の車種>

日産キャラバンほか

〔ストレッチャーであれば1台、  
車椅子であれば2~4台、乗車可能〕



## <配備先> (一部、配備準備中を含む)

### ・市別

松江市内	出雲市内	安来市内	雲南市内	米子市内	境港市内	計
37台	6台	2台	2台	3台	2台	52台

### ・施設別

社会福祉施設	消防	市役所	市立病院	社会福祉協議会	当社事業所	計
32台	8台	6台	2台	1台	3台	52台

## (2) 主な理解活動の実施状況について

### 1. 日常的な活動(2022年度実績)

項目(2023年1月末現在)	人数・回数	備考
島根原子力館への来館者	26,548人	
発電所視察・見学者数	3,447人	298団体
広報紙「あなたとともに」新聞折り込み	4回	各回 約21万部

### 2. 地区説明会・見学会

公民館や自治会単位等で説明会を実施し、地域の皆さまと社員が直接対話する機会を増やし、より一層島根原子力発電所への理解を深めていただくことを目的に開催。

実施内容(2023年1月末現在)

- ◆ 期 間: 2020年10月5日～継続実施中
- ◆ 回 数: 説明会・・・43箇所・866人、見学会・・・33回・370人

### 3. 鹿島町を対象とした全戸訪問(ポスティング)および公募見学会

全戸訪問活動・公募見学会を通じて、当社を身近に感じていただくとともに、安全性向上への取り組み等についてご理解いただくことを目的に実施。

#### ポスティング

- ◆ 期 間: 2022年11月10日～11月24日
- ◆ 対 象: 2,146戸
- ◆ 対応者: 発電所で勤務する社員 149名

#### 公募見学会

- ◆ 期 間: 2022年12月14日、17日の  
計2回
- ◆ 参加者: 9名